

中二学年の時間 「LGBT (Q) について」

11月24日に、二学期に継続して行っている「自分の思い込みを疑う」の第5回として「LGBT (Q) について」の授業を、「障がいについて」の講演もしていただいた京都大学大学院の平沢直樹さんに行っていただきました。

授業の目的は

- 1 全員が当事者意識を持って問題と向き合えること。
- 2 ダブルマイノリティの存在について意識できること。
- 3 当事者の声を聞くことを通して、身近な存在・身近な問題として意識できるようになること。

です。

知らず知らずのうちに他人を差別したり排除してしまうことは、性的マイノリティに限らず、人間が他者に対して行なってしまうがちであることを、生徒たちに身近な話題を通して考えさせ、そこから性的マイノリティへの意識をきちんと持つことの難しさ、大切さに結びつけて考えさせてくれました。

さらには、あまり話題にされないダブルマイノリティ（例えば体の性は男性で性自認は女性で恋愛対象は女性というような）についても言及され、性的マイノリティの問題が非常に複雑多岐にわたることも教えていただきました。他にも性的マイノリティに対する現行の法律がいかに無理解で、当人の結婚や子供を持つ権利を侵害している問題についてもお話しいただきました。

自分が抱く偏見に気づくには、正しい知識と理解を持つことが必須です。マジョリティに属していたら気づきにくい社会の問題に気づき、目を向けていくために今後もおりにふれて学ぶ機会を持ち、誰もがのびのびと暮らせる社会を目指していくことが大切です。

